



平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月10日

上場会社名 デリカフーズ株式会社
 コード番号 3392 URL <http://www.delica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

上場取引所 東

(氏名) 館本 勲武
 (氏名) 澤田 清春

TEL 03-3858-1037

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	10,036	—	332	—	322	—	188	—
20年3月期第2四半期	9,595	△3.4	328	△1.6	332	2.3	196	△1.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	12,420.91	12,323.49
20年3月期第2四半期	12,982.87	12,762.90

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第2四半期	8,306		3,776		45.5		249,194.29	
20年3月期	7,431		3,651		49.1		241,122.87	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 3,776百万円 20年3月期 3,651百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4,000.00	4,000.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,100	3.5	684	4.5	650	0.0	370	△2.8	24,434.09

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 15,605株 20年3月期 15,605株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 451株 20年3月期 463株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 15,146株 20年3月期第2四半期 15,147株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。



【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 業績等の概要

(単位：千円)

	平成20年3月期 中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	平成21年3月期 第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	比較増減	比較増減 (%)
売上高	9,595,153	10,036,431	441,278	4.6
営業利益	328,645	332,420	3,775	1.1
経常利益	332,845	322,200	△10,645	△3.2
四半期純利益	196,652	188,129	△8,522	△4.3

(注) 「比較増減」は参考として記載しております。

当社グループは第2四半期連結累計期間の予算である経常利益320百万円を達成することができました。第1四半期では原油・ガソリンの急激な高騰による物流費、資材費等の上昇や、国産野菜の需要集中による、一時的な原価率の上昇がありました。早期対応策として取り組んだ、物流網の再構築、販売価格の改定、契約産地との安定供給体制の強化により短期間で収益改善を行うことができました。

また、昨年竣工した大阪デリカフーズ株式会社兵庫工場が、売上・経常利益ともに順調な伸びを示していること、東京デリカフーズ株式会社横浜センターにて新規商品として製造販売を開始している過熟野菜が、売上・経常利益とも軌道に乗り始めたことも業績伸張の大きな要因です。

さらに、各子会社にて取り組んだ原価低減(コスト削減)や、契約栽培面積の拡大による国産野菜への切り替えが順調に進んだことも収益面に大きく貢献しています。

売上につきましても第2四半期連結累計期間の予算の9,900百万円を上回り、10,036百万円を達成することができました。外食産業の既存売上が低迷する中、新規顧客の獲得が進み、売上増加に貢献いたしました。

(2) 部門別の状況

	平成20年3月期 中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)		平成21年3月期 第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		比較増減 (千円)	比較増減 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)		
カット野菜部門						
売上高	3,063,608	31.9	3,136,395	31.3	72,787	+2.4
仕入高	1,447,389	23.1	1,494,051	22.8	46,662	+3.2
ホール野菜部門						
売上高	5,137,934	53.5	5,532,596	55.1	394,662	+7.7
仕入高	3,606,045	57.4	3,855,554	58.9	249,509	+6.9
その他部門						
売上高	1,393,610	14.5	1,367,439	13.6	△26,171	△1.9
仕入高	1,224,968	19.5	1,197,964	18.3	△27,004	△2.2
合計						
売上高	9,595,153	100.0	10,036,431	100.0	441,278	+4.6
仕入高	6,278,403	100.0	6,547,570	100.0	269,167	+4.3

(注) 「比較増減」は参考として記載しております。

【カット野菜部門】

第1四半期におきましては、全国的に国産野菜への需要が集中したため原価率を上昇させる結果となりましたが、生産コストの削減および国産原料の安定調達により、第2四半期におきましては原価率を下げることができました。



【ホール野菜部門】

新規顧客の獲得および大手既存顧客の売上拡大が当社グループ全体の売상을伸ばしました。8月中旬から9月上旬のゲリラ豪雨の影響もありましたが、生産者との取り組み等によって原価率を抑えることができました。

【その他部門】

金額はほぼ横ばいですが、カット野菜とホール野菜の構成比が増加したため、その他部門の構成比は減少しました。野菜外食材の価格改定により収益面も改善されています。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.3%減少し、3,862百万円となりました。これは、主として売掛金が182百万円減少したこと、一方、現金及び預金が144百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて24.9%増加し、4,444百万円となりました。これは、主として東京デリカフーズ株式会社の新工場用地取得などにより、土地が1,003百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて11.8%増加し、8,306百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.1%減少し、2,453百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が149百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて73.9%増加し、2,076百万円となりました。これは、主として東京デリカフーズ株式会社の新工場用地取得のための金融機関からの借入れなどにより、長期借入金が793百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて19.8%増加し、4,530百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%増加し、3,776百万円となりました。

また、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて3.7ポイント下降し、45.5%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

売上高、利益共に概ね計画通りに推移しておりますので、平成20年5月14日発表の通期の業績予想に変更はありません。



4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
- ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法
当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
 - ② 棚卸資産の評価方法
棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。
 - ③ 固定資産の減価償却費の算定方法
定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
 - ④ 経過勘定項目の算定方法
合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。
 - ⑤ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法
繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。
 - ⑥ 税金費用の計算
当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。
なお、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
- ① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用
当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
 - ② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用
「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。
当該変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。
 - ③ リース取引に関する会計基準等の適用
「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買処理に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。
また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。
なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、期首に前連結会計年度末における未経過リース料期末残高相当額を取得価額として取得したもとしてリース資産を計上する方法によっております。
この結果、従来の方法によった場合に比べて、リース資産が有形固定資産に119,805千円計上されております。
なお、損益に与える影響は軽微であります。
- (追加情報)
- 法人税法の改正(所得税法等の一部を改正する法律 平成20年4月30日 法律第23号)による法定耐用年数及び資産区分の変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、機械及び装置の一部について耐用年数を延長しております。
この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、従来の方法によった場合に比べて1,784千円増加しております。



5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,790,420	1,646,079
売掛金	1,919,616	2,101,807
商品及び製品	45,473	45,835
仕掛品	1,377	1,605
原材料及び貯蔵品	18,000	19,276
その他	108,043	79,348
貸倒引当金	△20,434	△19,319
流動資産合計	3,862,497	3,874,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,274,251	1,319,005
土地	2,457,900	1,454,692
その他	351,102	341,434
有形固定資産合計	4,083,254	3,115,133
無形固定資産		
その他	35,779	39,717
無形固定資産合計	35,779	39,717
投資その他の資産		
その他	338,544	417,236
貸倒引当金	△13,384	△15,048
投資その他の資産合計	325,160	402,187
固定資産合計	4,444,194	3,557,037
資産合計	8,306,692	7,431,672
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,075,012	1,224,836
短期借入金	430,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	182,078	199,419
未払金	493,963	521,421
未払法人税等	135,626	114,136
賞与引当金	62,778	54,972
その他	74,223	41,376
流動負債合計	2,453,681	2,586,163
固定負債		
長期借入金	1,938,495	1,145,299
退職給付引当金	41,530	48,238
その他	96,695	700
固定負債合計	2,076,721	1,194,237
負債合計	4,530,402	3,780,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	759,755	759,755
資本剰余金	1,591,242	1,591,242
利益剰余金	1,558,397	1,432,961
自己株式	△111,331	△114,423
株主資本合計	3,798,065	3,669,536
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△21,775	△18,266
評価・換算差額等合計	△21,775	△18,266
純資産合計	3,776,290	3,651,270
負債純資産合計	8,306,692	7,431,672



(2) 四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
売上高	10,036,431
売上原価	7,429,367
売上総利益	2,607,063
販売費及び一般管理費	2,274,643
営業利益	332,420
営業外収益	
受取利息	1,839
受取配当金	964
自動販売機収入	814
その他	2,751
営業外収益合計	6,369
営業外費用	
支払利息	16,557
その他	31
営業外費用合計	16,589
経常利益	322,200
特別利益	
退職給付引当金戻入額	5,228
保険解約返戻金	1,277
特別利益合計	6,505
特別損失	
固定資産除却損	401
不動産取得税等	5,790
特別損失合計	6,191
税金等調整前四半期純利益	322,514
法人税、住民税及び事業税	134,384
法人税等合計	134,384
四半期純利益	188,129



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	322,514
減価償却費	101,573
引当金の増加額	547
受取利息及び受取配当金	△2,803
支払利息	16,557
固定資産除却損	401
売上債権の減少額	182,191
たな卸資産の減少額	1,867
仕入債務の減少額	△149,824
その他	△3,738
小計	469,286
利息及び配当金の受取額	2,362
利息の支払額	△16,332
法人税等の支払額	△128,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	326,821
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△36,656
定期預金の払戻による収入	60,000
有形固定資産の取得による支出	△948,199
無形固定資産の取得による支出	△1,478
投資有価証券の取得による支出	△11,800
貸付金の回収による収入	166
保険積立金の払戻による収入	2,618
その他	△16,564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△951,912
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	880,000
長期借入金の返済による支出	△104,145
社債の償還による支出	△10,000
自己株式の取得による支出	△97
自己株式の処分による収入	1,067
リース債務の返済による支出	△13,778
配当金の支払額	△60,270
財務活動によるキャッシュ・フロー	692,776
現金及び現金同等物の増加額	67,684
現金及び現金同等物の期首残高	1,101,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,169,545



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、青果物事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、当該事業以外に事業の種類がありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

海外売上高がないため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

該当事項はありません。



「参考資料」

前中間連結損益計算書

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		
	金額 (千円)		百分比 (%)
I 売上高		9,595,153	100.0
II 売上原価		7,139,477	74.4
売上総利益		2,455,675	25.6
III 販売費及び一般管理費		2,127,030	22.2
営業利益		328,645	3.4
IV 営業外収益			
1 受取利息	2,107		
2 受取配当金	871		
3 匿名組合投資利益	13,699		
4 その他	4,792	21,471	0.2
V 営業外費用			
1 支払利息	17,172		
2 その他	97	17,270	0.2
経常利益		332,845	3.5
VI 特別利益			
1 保険解約返戻金	703		
2 貸倒引当金戻入益	5,087	5,791	0.1
VII 特別損失			
1 固定資産除却損	329		
2 投資有価証券売却損	390	719	0.0
税金等調整前中間純利益		337,917	3.5
法人税、住民税及び事業税	129,162		
法人税等調整額	12,101	141,264	1.5
中間純利益		196,652	2.0



「参考資料」

前中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区 分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	337,917
減価償却費	83,558
貸倒引当金の減少額	△7,074
賞与引当金の減少額	△9,492
退職給付引当金の減少額	△4,200
工場閉鎖費用引当金の減少額	△4,385
受取利息及び受取配当金	△2,979
支払利息	17,172
投資有価証券売却損	390
固定資産除却損	329
売上債権の減少額	14,454
たな卸資産の減少額	7,903
仕入債務の減少額	△80,994
その他	△43,139
小計	309,460
利息及び配当金の受取額	2,839
利息の支払額	△16,625
法人税等の支払額	△168,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,404
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△104,732
定期預金の払戻しによる収入	313,606
有形固定資産の取得による支出	△309,110
無形固定資産の取得による支出	△5,120
投資有価証券の取得による支出	△22,445
投資有価証券の売却による収入	1,999
貸付金の回収による収入	163
保険積立金の返還による収入	1,670
その他	△287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,256
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純減少額	△180,000
長期借入れによる収入	340,000
長期借入金の返済による支出	△159,366
社債の償還による支出	△10,000
自己株式の処分による収入	889
配当金の支払額	△52,843
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,319
IV 現金及び現金同等物の減少額	△58,171
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,425,729
VI 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,367,557

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、青果物事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、当該事業以外に事業の種類がありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

海外売上高がないため、記載を省略しております。



6. その他の情報

(参考) 最近における四半期毎の業績の推移

平成21年3月期(連結)

(百万円未満切り捨て)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	4,924	5,111		
売上総利益	1,239	1,367		
営業利益	109	222		
経常利益	105	216		
税金等調整前四半期純利益	106	216		
四半期純利益	61	126		
1株当たり四半期純利益	4,086.39円	8,333.38円		
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	4,047.29円	8,282.34円		
総資産	7,194	8,306		
純資産	3,652	3,776		
1株当たり純資産	241,197.93円	249,194.29円		
営業活動による キャッシュ・フロー	31	295		
投資活動による キャッシュ・フロー	△23	△928		
財務活動による キャッシュ・フロー	△110	803		
現金及び現金同等物 四半期末残高	999	1,169		

平成20年3月期(連結)

(百万円未満切り捨て)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	4,737	4,857	4,931	4,898
売上総利益	1,230	1,224	1,258	1,229
営業利益	175	153	182	143
経常利益	176	156	177	139
税金等調整前四半期純利益	183	154	172	139
四半期純利益	107	89	96	87
1株当たり四半期純利益	7,070.25円	5,913.01円	6,389.05円	5,755.17円
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	6,943.19円	5,819.67円	6,299.71円	5,669.72円
総資産	7,392	7,498	7,687	7,431
純資産	3,394	3,479	3,572	3,651
1株当たり純資産	224,193.97円	229,630.26円	235,784.72円	241,122.87円
営業活動による キャッシュ・フロー	△6	133	38	196
投資活動による キャッシュ・フロー	△173	48	△308	△136
財務活動による キャッシュ・フロー	105	△166	20	△76
現金及び現金同等物 四半期末残高	1,351	1,367	1,118	1,101